

雨中の行進に、予定より1時間早着!

朝から曇り空ですが、予報は昼から晴れていました。朝の行進は二日間山口氏に同行していた有原さんとは、引田駅で握手、「また広島で会いましょう」と帰京。一行は少なくなりましたが、天から降ってわいたかのように、引田駅から一人参加。それも女性で思わず、ジャンヌダルク（救いの神）と思ってしまいました。少ない中での一人の参加の重みを感じました。行進ペースは今までの2倍のハイペースで、東かがわ市役所には1時間早く到着しました。

東かがわ市役所では、岩部乃之筆頭代表の主催者挨拶のあと、東かがわの三役から揃って挨拶を頂きました。

★松本吉弘副市長 広島・長崎の被爆から77年、知らない世代も多数になる中、忘れてはならないことと強調。平和行進の活動に敬意を表し、ウクライナ問題や北朝鮮問題など、被爆国として声を上げていこうと結びました。

★井上弘志市議会議長 今年で64年になる平和行進、継続は力というのが敬意を表したい、何よりもウクライナやコロナ問題など、いずれも安全・安心に暮らしていけることが第一と強調。東かがわ市議会では、ロシアの侵略への抗議決議を行い、あわせて議員申し合わせで20万円の募金をウクライナに送ったと、その思いが届くように念願するとあいさつ。

★松浦隆夫教育長 3月まで大川町で校長先生だったが、山口さんの90歳にビックリしたと行進の大切さに気付きを頂いたと感想、さらに東かがわ市は手袋の町で、ウクライナには「手袋」という童話があるが、普及していきたいと挨拶。

東かがわ市では、三役からペナントを頂きました。ウクライナ「ひまわり募金」2100円

同行二人

お遍路行進を念頭に頑張る山口逸郎さんは、大変な健脚でしかも歩くのが早いのが特徴です。今日の発言で、滋賀県の全盲の方が、小さな折り鶴を103羽折り、それを材料に「平和」という漢字にして、山口さんに託してくれたということです。山口さんはいつもそれを、首から吊り下げて行進しているといえます。昔からお遍路さんは「同行二人」という遍路傘で四国を巡礼していますが、山口流「同行二人」ではないでしょうか？



左：東かがわ市三役と出発式
右：JAふれあいで

